

令和5年度を振り返って

相撲専門部

本年度も関係者の皆様には、様々なご協力をいただき、大会が充実のうえ無事に終えることができました。このような成果が得られたことを心より感謝しております。本委員会では、生徒たちが相撲を正しく理解し、親しみ、真剣に取り組む中から心身ともにバランスよく成長することを目指しています。毎年、競技力の向上と競技人口の増加に力を注いでおります。まだまだ不十分ですが、中学校相撲部で育った選手が、高校ではもちろん、大学・社会人となっても主力選手として活躍している現状も得ております。

《府大会》

この6年間ほどは、伏見と大原野が特に充実している大会になっております。先だって開催された夏季大会においては、5人制での接戦の末、伏見中学校が大原野中を破り優勝しました。府大会は3人制で行うため、実力が拮抗している両校にとって、選手交代も含めてメンバーをどう組み合わせるかも特に重要な要素になっています。今年の主力選手は伏見、大原野の両校ともに、昨年度から中心選手として活躍してきており、伏見は安定した相撲をとる3年生の和田野を軸に、軽量級で全国経験も豊富な鶴の2枚が充実しており、対する大原野は、昨年度から主力として活躍していた、3年生である土橋、小学生のときから全国大会で活躍した1年生の齋藤の2人が軸である。残りの1人については、伏見の2年生である原田が頭一つ抜けており、実力が拮抗している中でも伏見が有利と考えられていました。また、今年度より地域クラブの参入が認められたことによって1クラブの参加がありました。試合結果は、先鋒戦で伏見の鶴が、大原野の齋藤に勝ち、中堅戦こそ大原野の土橋が勝利を取めたが、大将戦で伏見の和田野が勝ち、2-1で伏見中学校の勝利となり、その勢いのまま伏見が他の中学校・クラブチームにも勝利を収め、伏見中が優勝し昨年度の雪辱を果たした形となりました。

《近畿大会》

和歌山県の県営相撲場で近畿大会が開催されました。出場は団体戦で伏見、大原野、嵯峨、個人戦では3中学校の他、クラブチームから1名でした。京都においては、伏見と大原野のメンバーが充実しており、両校とも2年生からチームの中心となっていた選手がそのまま残っており、大きな大会にも経験豊富なチームで、団体では両校ともに入賞を目指せる実力を備えているところでした。近畿全体としては、特に数年前から和歌山県が充実しており、打倒和歌山県を目指して取り組んできました。結果は、京都の3チームともに予選を通過しましたが、準々決勝で伏見と大原野が対戦することになり、伏見が勝利し準決勝へ、もう一方の取り組みで、3年生の大活躍もあり、嵯峨が準決勝へ進出した。準決勝においては、両校とも和歌山県の中学校に惜しくも敗れ3位となりました。

《全国大会》

団体戦出場の伏見は、予選3戦中2勝をあげ、決勝トーナメントに進出しました。決勝トーナメントでは、1回戦に勝利したが、2回戦で優勝した鹿児島県の中学校に敗れ、ベスト16という結果でした。個人は、大原野中3年土橋、伏見中3年和田野、地域クラブの隼の3名が決勝トーナメントに進出しました。決勝トーナメントでは、大原野の土橋、伏見の和田野の2名が勝ち進み、ベスト8決定戦で敗退し、両名ともベスト16の結果となりました。個人戦で優勝したのは、埼玉の選手でした。近畿大会においてもこのように個人戦において、道場で習っている生徒がたくさん出場してきますので、まずは近畿の個人戦に耐えられるような実力を、京都の選手にもつけていくことが大きな課題であると考えます。

《おわりに》

本委員会は、全国大会での上位入賞を目指し、毎年合同の強化練習会や合宿を実施しています。専門委員や各中学校出身の現役高校生らが、体を張った指導を行い、近畿大会レベルの団体戦においては、互角に戦うことができます。しかし、近畿の個人出場選手や、全国レベルになると、他府県では道場など社会体育が普及しており、年少時より相撲に親しんでいる生徒がたくさん出場し、競技力に大きく差があります。また、昨年度から懸念されていた、地域クラブの参入によって、生徒が中学校から出場するのか、クラブチームから出場するのかの選択を迫られる生徒が見られた。来年度以降も、地域クラブの参入を認めていくのであれば、各地域ブロックからの参加とし、中学校の部活動から出場するのか、地域クラブからの出場をするのかのすみ分けを行っていただきたいです。そして、中学校の相撲部として今後どのように競技力、人口の拡大、継続をしていけるのかが課題だと感じます。本年度も、府中体連事務局をはじめ、関係の皆様大変お世話になり、誠にありがとうございました。

第76回 京都府中学校総合体育大会

【相撲競技の部】 於 伏見港公園相撲場

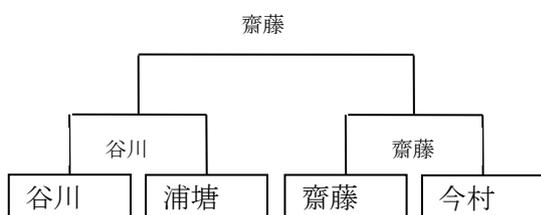
1. 団体リーグ戦

	大原野	伏見	京都相撲教室	嵯峨	勝	点	順位
大原野		×1-2	○2-1	○3-0	2	6	2
伏見	○2-1		○3-0	○3-0	3	8	1
京都相撲教室	×1-2	×0-3		×1-2	0	2	4
嵯峨	×0-3	×0-3	○2-1		1	2	3

団体戦

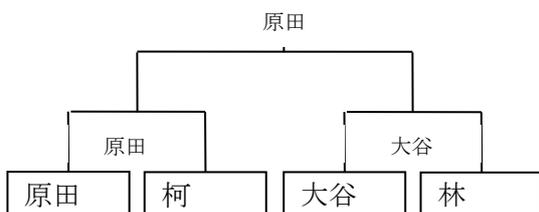
- 1位 京都市立伏見中学校
- 2位 京都市立大原野中学校
- 3位 京都市立嵯峨中学校

2. 個人戦



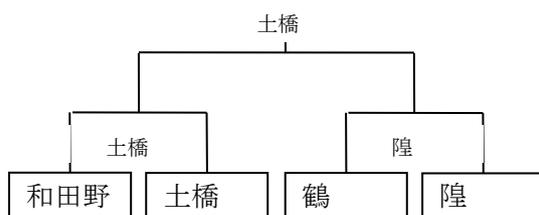
個人1年生の部

- 1位 齋藤 甲虎 (大原野 中学校)
- 2位 谷川 幸太郎 (伏見 中学校)
- 3位 今村 幸輔 (大原野 中学校)
- 3位 浦塘 竜生 (京都相撲教室)



個人2年生の部

- 1位 原田 泰誠 (伏見 中学校)
- 2位 大谷 勇心 (伏見 中学校)
- 3位 柯 巧志 (伏見 中学校)
- 3位 林 海人 (大原野 中学校)



個人3年生の部

- 1位 土橋 誠羽 (大原野 中学校)
- 2位 隍 新太 (京都相撲教室)
- 3位 和田野翔哉 (伏見 中学校)
- 3位 鶴 凧海 (伏見 中学校)